

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000989
事業所名	介護支援センター つばさ グループホーム事業部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 地域の奉仕活動に参加するため、車を使って職員2名と連れ立って利用者3名が出かける。 以前から実施していた利用者、家族、職員による「お菓子作り」への参加を地域にも呼びかけた。将来的には「認知症カフェ」へ進化させようとの計画もある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 運営推進会議は2ヶ月に1度の開催であるが、地域の代表からはホーム運営に有益な意見が出る。 会議当日に防災訓練(避難訓練)を実施し、実際の現場を見てもらうことで会議参加者のホーム理解が深まった。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 地域包括支援センターの骨折りがある、併設のデイサービスの休業日(日曜日)に「認知症サポーター養成講座」を開講した。 地域からの参加者が少なかったが、広報の方法を見直し、今後も定期的開催することを計画している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 介護計画を説明する機会に、家族の意見や要望を聞いている。 利用者の入院について、家族から厳しい意見をもらったこともあるが、懇切丁寧に説明して理解を得た。 毎月発行されているホーム便りで、ホームの現況や利用者の暮らしぶりを伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				